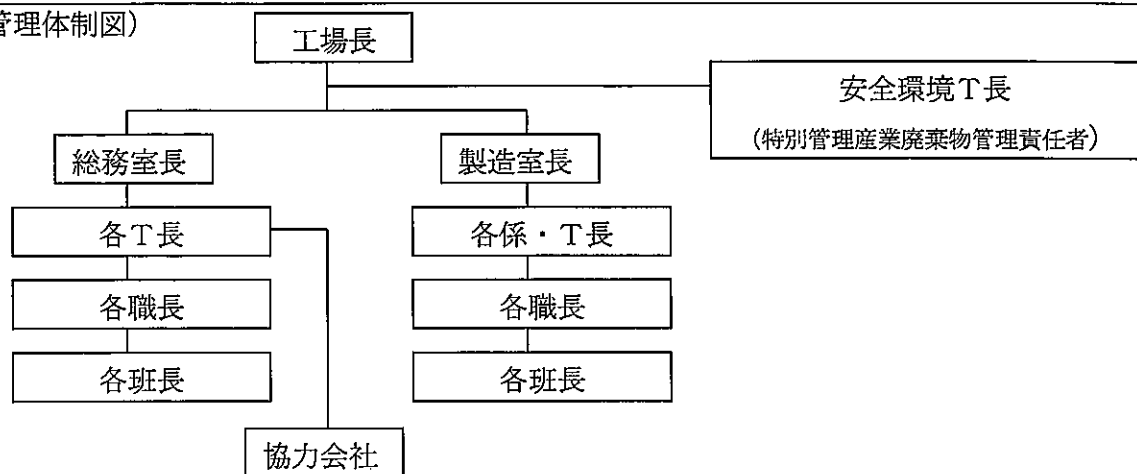


産業廃棄物処理計画書	
令和6年 6月 10日	
京都府知事 様	
	提出者 住 所 福知山市長田野町3丁目36番地 氏 名 株式会社神戸製鋼所 福知山工場 工場長 兼田 昌人 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0773-27-2131
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社神戸製鋼所 福知山工場
事業場の所在地	福知山市長田野町3丁目36番地
計画期間	令和6年度
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	金属製品製造業
②事業の規模	製造品出荷額 162億円
③従業員数	273人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】別紙2の通り		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】別紙2の通り		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	中和汚泥	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	3,519 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	中和汚泥	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	3,294 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

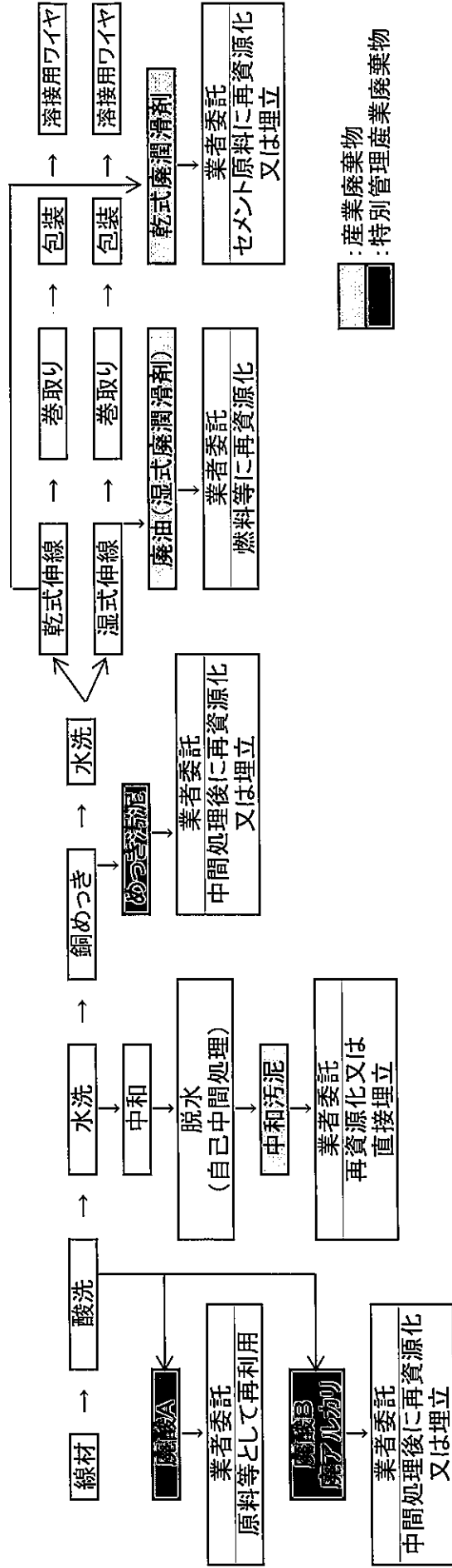
(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】 別紙3の通り		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】別紙3の通り		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

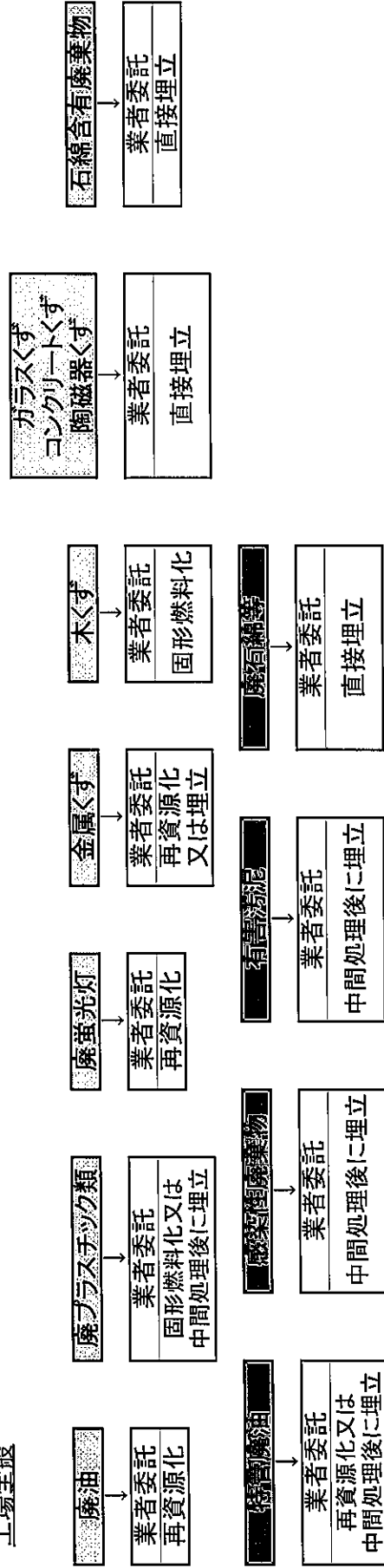
備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。



産業廃棄物
特別管理産業廃棄物

工場全般



【前年度(令和5年度)実績】

産業廃棄物の種類	中和汚泥	乾式廃油滑利	廃油	廃プラスチック	木くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず*	石綿含有廃棄物	廃蛍光灯	金属くず
全処理委託量(t)	391.0	114	76.8	381	121.3	0.7	0	0.39	1.5
優良認定処理業者への 処理委託量(t)	0.0	36.5	66.9	319	121.3	0	0	0.39	1.5
再生利用業者への 処理委託量(t)	391	17.7	76.8	324.6	121.3	0	0	0.39	0
認定熱回収業者への 処理委託量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
①現状	従来埋立処分していたが、セメント、路盤材等に原料化できる業者へ変更。以後、一部を除いてその業者に委託している。 一部埋立を継続している。 これまでに実施した取組								
	従来埋立処分して いたが、セメント、 路盤材等に原料化で きる業者へ変更。 以後、一部を除い てその業者に委託 している。	従来路盤材に再生 されていくがセメ ント原料化できる 業者に変更した。 一部、埋立処分を 実施。	従来より再生燃料 化する業者に委 託している。	従来より固形燃料 化する業者に委 託している。 一部中間処理 後、埋立処分を実 施。	従来より固形燃 料化する業者に 委託している。	埋立処分を実施。 	従来より埋立処分し ている。	中間処理後に再資 源化する業者に委 託している。	中間処理後に埋 立処分を実施。

【目錄】

【目標】									
産業廃棄物の種類	中和汚泥	乾式燐潤滑剤	廃油	廃プラスチック	木くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	石綿含有廃棄物	廃蛍光灯	金属くず
全処理委託量(t)	366	162	86	368	110	3.0	0	0.6	0
優良認定処理業者への処理委託量(t)	0	40	78	306	110	0	0	0.6	0
再生利用業者への処理委託量(t)	366	20	86	317	110	0	0	0.6	0
認定熱回収業者への処理委託量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
今後実施する予定の取組	上記取組を継続する。	上記取組を継続する。	上記取組を継続する。	上記取組を継続する。	上記取組を継続する。	上記取組を継続する。	上記取組を継続する。	上記取組を継続する。	上記取組を継続する。

②計画